

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

鴨川駅の派出廃止反対!

千葉支社 入換作業の1人化を提案

皆様、今年もよろしくお願いいたします。

*

J R千葉支社は12月、安房鴨川駅での入換作業について、運転士とCTS鴨川派出(1人)の2人体制から、運転士1人のみで行わせると提案しました。それに伴い、CTS幕張事業所・鴨川派出の出区点検と入出区作業の発注を取りやめるとしています。さらにCTSは、「CTS鴨川派出を廃止する」と提案しました。

運転士への負担増・労働強化

提案時の説明では、これまで2人体制で入換を行っていたのは「交通量のある踏切を支障するので、遮断時間を短くするため」でした。

1人入換化は運転士にとって、これまでの以上の負担増・労働強化です。

また、踏切の遮断時間を長くしても良いという意味では、廃線化と同じく地域切り捨ての問題でもありません。

【千葉支社提案】

安房鴨川駅での入換作業
(現) 2人体制 → (改) 1人体制

【CTS提案】

CTS幕張事業所鴨川派出
(現) 1徹 → (改) 廃止

実施日：3月15日(土)

安全の切り捨てを許さない

千葉支社は2000年以降、錦系町(06年)、館山(10年)、成田(12年)、銚子(22年)、一ノ宮(24年)と管内の派出を、まさに次々と廃止してきました。

さらに昨年10月1日からは、J R本体の千葉派出・西船橋派出についても、日中帯は車両センター本区に融合化されています。横浜支社でも8月1日から横浜派出と大船駅ホーム検査削減、逗子派出の鎌倉車両センター本区への融合化なども進められています。

事実上、「もう検査派出はいらない」と宣言するような攻撃です。この間、車両故障・車両交換、獣害、倒木・倒竹などの衝突が多発しています。しかし、乗務員は検査係に対応してもうえなくなりません。

ワンマン化の全面的な拡大と合わせて考えれば、運転士の負担とプレッシャーは大変なものになります。コストの削減・利益のためだけに安全を切り捨てる攻撃です。

これは会社が進めてきた外注化施策の矛盾と破綻でもあります。会社の攻撃は決して万全ではありません。3月ダイ改・鴨川派出廃止・入換1人化に反対の声を上げよう。